

事例5：交通誘導員がタイヤローラーと電柱の間に挟まれた

舗装作業の手伝いをしていた交通誘導員が、後退してきたタイヤローラーと電柱の間に挟まれ負傷した。

原因

- タイヤローラー作業における、後方確認の怠り

結果

- 鎖骨骨折、後頭部裂傷、脳内出血

行動

- 交通誘導員が、後退してきたタイヤローラーと電柱の間に挟まれた。

教訓

- ① ローラー作業エリア内で別の作業をさせない。
- ② 建設機械誘導員を配置して、作業員の身を守る。
- ③ 合図や点呼等、確認行為の徹底を指導する。
- ④ 交通誘導員に作業を手伝わせない。

